

ボッチャ大会&障害者疑似体験会 実施要領

1. 開催日：令和7年3月26日（水）12時30分開始 ※受付12時00分～12時20分
16時10分終了予定
2. 会場：武蔵野の森 総合スポーツプラザ サブアリーナ
3. 目的：①障害のある人・ない人、誰もが楽しめるパラスポーツを知り、障害者への理解と共感を深めるとともに、パラスポーツの楽しさを体験することにより、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指していくことを目的としています。
②障害者疑似体験を通して、実際に制限のある状態を体験し、リアルな気づきを得て、日常生活や職場での勤務においてどのような配慮が必要か考えていくことを目的としています。
③厚生委員会とがん患者・障がい者等就労支援特別委員会の共催によるボッチャ大会&障害者疑似体験会を通して、会員同士の親睦を目的とした福利厚生事業におけるトライアル事業として実施することを目的としています。
4. 参加者：東京会会員
ボッチャ大会は、団体戦（各支部3～6名以内で構成）とします。
ボッチャ大会の応援は、2階観客席での観戦や応援は可能とします。
※応援者は、体育館には入ることはできません。
※応援時は、音が鳴る応援グッズは使用禁止です。
5. 参加費：無料（参加者の怪我等に備えるため、本会の保険料負担により全員傷害保険に加入）
6. 全体概要
・参加チームをA・B・C・Dの4ブロックに分け、A・Bブロックがボッチャ大会を実施しているとき、C・Dブロックは障害者疑似体験を実施。
7. ボッチャ大会概要
・各ブロックで1エンド制の総当たり戦とする。
・決勝戦及び3位決定戦は2エンド制とする。
・A・Bブロックの勝者とC・Dブロックで決勝戦及び3位決定戦を行う。
8. 障害者疑似体験会概要
・白杖体験及び手話体験を実施する。
その他、ゴールボール（視覚障害者スポーツ）の競技ボールに触れる体験コーナーも設置。

[ボッチャの解説]

●ボッチャとは

ボッチャはヨーロッパ（イタリア）で生まれ、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目となっています。

年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。障がいによりボールを投げることができなくても、ランプ（勾配具）を使い、自分の意思をランプオペレーターに伝えることができれば参加できます。

●競技方法

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

使用するコートは、おおよそバドミントンコート程度の大きさです。

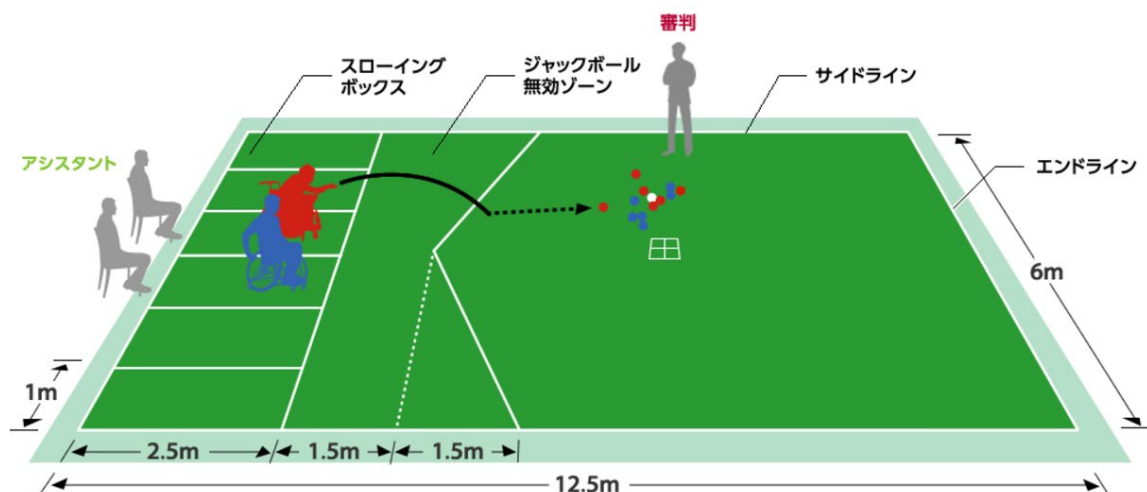


図 パラスポーツを応援するWEBマガジンより

<https://sportrait-web.com/games/articles/?article=118>

●参考動画

・【動画で知る！パラスポーツ】これがボッチャだ！（1分30秒）日本財団パラスポーツサポートセンター

<https://www.youtube.com/watch?v=5062pDZba2w>



・ボッチャをやってみよう（5分10秒）公益財団法人日本パラスポーツ協会

<https://www.youtube.com/watch?v=p-cl16bjauo>

